

授業計画（シラバス）

教育内容	専門分野 地域・在宅看護論				
科目名	地域・在宅看護論方法論Ⅱ	対象学年	2年生		
単位（時間数）	1単位（40時間）	講義時間	36時間	試験時間	4時間
講師名	外来講師／基幹教員	実務経験	臨床看護師、理学療法士 他		
学習目標	1) 地域で暮らす対象の健康障害に応じた生活環境の改善について理解する 2) 地域で療養する対象に必要な医療的処置を伴う援助技術を習得する 3) 在宅看護に必要なサービスや制度を援助技術と紐づけて理解する 4) 訪問リハビリテーションに関する基礎知識と援助技術の実際を知る				

回数	単元・授業内容	授業形態	使用教材
1、2	ADL・QOL 評価指標	講義 (外来講師)	地域・在宅看護の実践（医学書院）
3、4	対象の特性 視覚・聴覚・言語障害への看護	講義 演習 (外来講師)	〃
5、6	様々なコミュニケーション方法 コミュニケーションツール作成	講義 演習 (外来講師)	〃
7、8	生活環境の改善	講義 演習 (外来講師)	〃
9、10	呼吸・循環の管理 在宅酸素療法 在宅人工呼吸療法、気管切開時のケア 腹膜透析	講義 演習 (外来講師)	地域・在宅看護の実践（医学書院）
11、12	食・栄養の管理 在宅における食事への援助 在宅中心静脈栄養法 在宅経腸栄養法 服薬管理	講義 演習 (外来講師)	〃
13	排泄の管理 自然排泄への援助（自立に向けて） ストーマケア 膀胱留置カテーテルの管理	講義 演習 (外来講師)	〃

授業計画（シラバス）

14	療養技術演習：清潔 在宅における入浴の援助、洗髪	講義 演習	〃
15	スキンケア 創傷処置 褥瘡予防、処置	講義 演習	〃
16～18	訪問リハビリテーション 呼吸リハビリテーション 機能訓練	講義 演習 (理学療法士)	地域・在宅看護の 実践（医学書院）
19・20	終講試験	筆記試験	
教科書	地域・在宅看護の実践（医学書院）		
参考図書			
評価方法	受講態度、終講試験（外来講師の担当範囲、基幹教員の担当範囲より）		